

健康づくりは幸せづくり

Making Health
is making happiness



第56期

株 主 通 信

平成21年4月1日～平成22年3月31日

Contents

株主の皆様へ	P.1
営業の概況（連結）	P.3
研究開発の状況	P.5
研究開発パイプライン	P.6
生産物流の状況／次期の見通し	P.7
株主様ご優待のお知らせ	P.8
平成21年度（2010年3月期）決算説明会	P.9
トピックス	P.10
財務諸表（連結）	P.11
会社情報	P.13
株式情報	P.14
株主メモ	



ゼリア新薬

Z E R I A

株主の皆様へ



代表取締役社長
伊 部 幸 顕

Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ／企業理念



Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ／企業理念

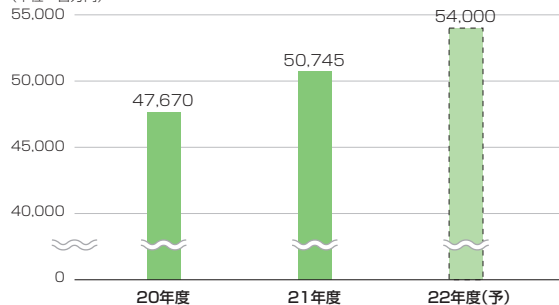
株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第56期の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

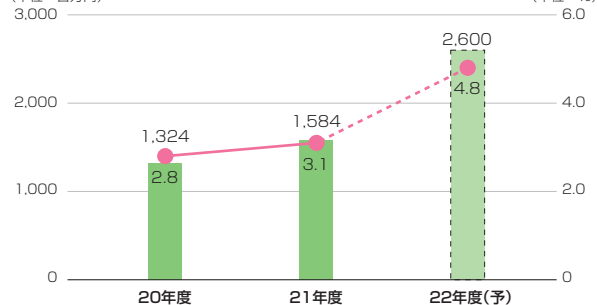
売上高

(単位：百万円)



営業利益／営業利益率

(単位：百万円)



当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の緊急経済対策の効果等により一部に持ち直しの動きが見られたものの、全体として企業収益は低水準に止まり景気の停滞感を払拭するまでには至らず、雇用情勢の悪化や設備投資の減少、個人消費の低迷など、依然として厳しい状況で推移いたしました。

医療用医薬品業界におきましては、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品（一般用医薬品）市場におきましても、景気低迷による個人消費の伸び悩みなどから、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

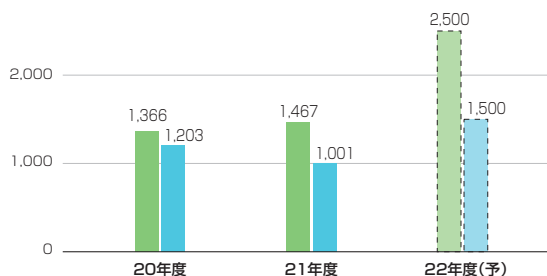
このような状況の中、当社グループは「企業価値の向上」を目指し、平成18年度を起点とする5ヵ年の第6次中期経営計画を推進しております。第6次中期経営計画の重要課題として、売上・利益に貢献しシナジーが得られるアライアンスやM&Aに積極的に取り組んでまいりました。平成20年10月のイオナ インターナショナル株式会社に次いで、平成21年9月にTillotts Pharma AG（以下Tillotts社）の全株式を取得し、子会社化いたしました。

これらの活動の結果、当連結会計年度の売上高は、507億45百万円（前期比6.5%増）、営業利益15億84百万円（前期比19.6%増）、経常利益14億67百万円（前期比7.4%増）、当期純利益10億1百万円（前期比16.7%減）となりました。なお、Tillotts社の実績は、連結開始後の平成21年10月1日から平成21年12月31日までの3ヵ月分を計上しております。

経常利益／当期純利益

（単位：百万円）
3,000

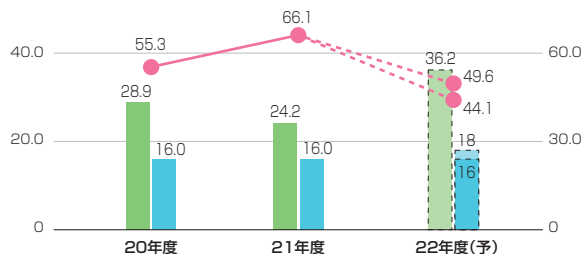
■ 経常利益 ■ 当期純利益



1株当り当期純利益／1株当り配当／配当性向

（単位：円）
60.0

■ 1株当り当期純利益 ■ 1株当り配当 ● 配当性向（単位：%）
90.0



営業の概況（連結）

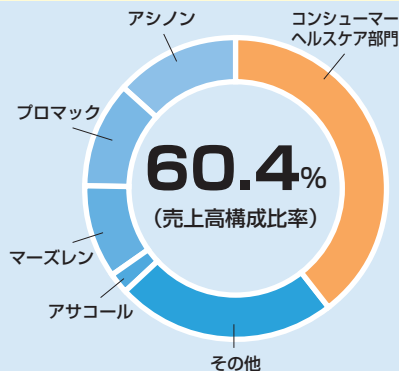
医療用医薬品部門

●売上高

305億16百万円
(前期比6.1%増)

●主要製品売上高

アシノン **66.6** 億円
プロマック **57.8** 億円
マーズレン **50** 億円
アサコール **11.8** 億円



当部門におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR（医薬情報担当者）の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

最重点領域である消化器官用薬におきましては、営業力をこの領域に一層注力し、市場拡大に努めてまいりました。その結果、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®」は、市場浸透がさらに進み売上は堅調に推移いたしました。しかし、H₂受容体拮抗剤「アシノン®」、胃炎・

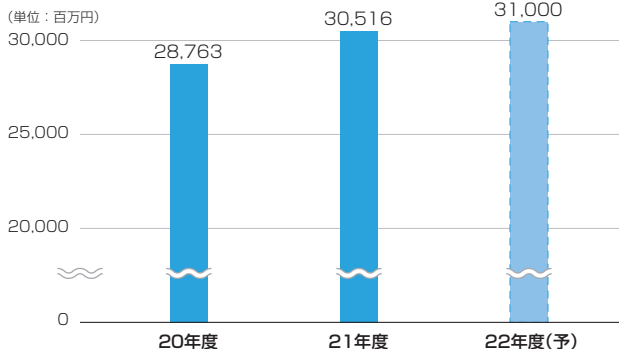
潰瘍治療剤「マーズレン®」などの製品は、市場競争の激化や後発医薬品の影響を受けて苦戦いたしました。一方で、Tillotts社から導入した潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」につきましては、平成21年10月に製造販売承認を取得し、同年12月より販売を開始いたしました。現在、早期の市場浸透に努めているところであります。

これらの結果、当部門の売上高は、305億16百万円（前期比6.1%増）となりました。

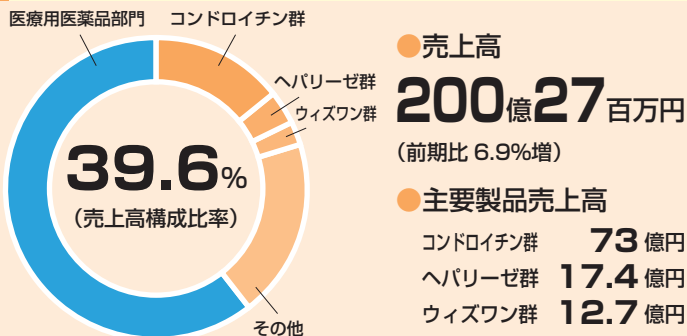


連結売上高

医療用医薬品部門



コンシューマーヘルスケア部門



当部門におきましては、超高齢社会が進展する中、生活者のセルフメディケーションをサポートする製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

なかでも主力製品群である「コンドロイチン群」は、昨年度より実施しているテレビCMの効果等もあり、今年度も順調に売上を拡大いたしました。また「コンドロイチン群」に続き、滋養強壮剤「ヘパリーゼ®群」においても平成21年11月から関東地区にてテレ

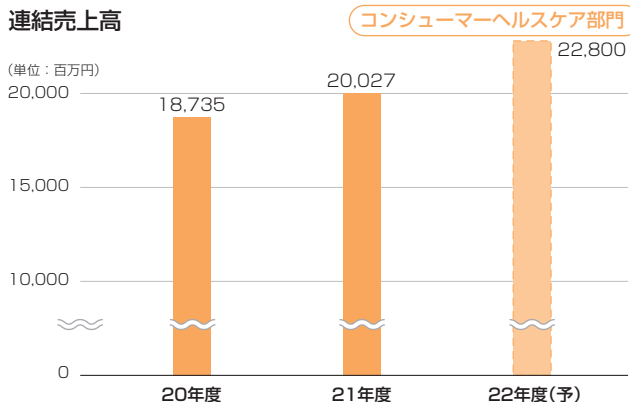
ビCMを開始し、製品認知度の一層の向上に努めた結果、売上を大きく拡大いたしました。さらには、植物性便秘薬「ウィズワン®群」も順調に推移いたしました。

これらの結果、当部門の売上高は200億27百万円（前期比6.9%増）となりました。



連結売上高

(単位：百万円)



研究開発の状況

研究開発部門におきましては、国際的に通用する新薬の創製を念頭に、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績のある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

最重点領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、Tillotts社より導入した「Z-206（アサコール®）」は、平成21年10月に潰瘍性大腸炎を対象とした「アサコール®錠400mg」として製造販売承認を取得し、平成21年12月に販売を開始いたしました。また、「アサコール®」は、Tillotts社が中国での開発準備を進めておりましたが、今後当社が主体となり、中国でのフェーズⅢを実施してまいります。

日米欧3極で開発を進めている自社オリジナル品の「Z-338」につきましては、アステラス製薬株式会社と平成20年3月に締結した国内における共同開発および共同販売契約に基づき、世界で初めての機能性ディスペプシア治療剤としてフェーズⅢを実施しておりましたが、このほど終了し、早期申請に向けて準備を行っております。また、米国および欧州では、フェーズⅢ開始に向けた準備を進めております。

「Z-103（プロマック®）」につきましては、味覚障害を対象とした効能追加のフェーズⅢを実施しております。また、韓国SK Chemicalsは、平成18年2月に当社との間で締結した「プロマック®顆粒15%」の同国内における開発および販売に関する契約に基づき同剤の開発を進めておりましたが、平成21年4月に胃潰瘍・胃炎治療剤として承認を取得いたしました。

「Z-100（アンサー®）」は子宮頸癌に対する追加フェーズⅢを引き続き進めております。

平成19年8月にテムリック株式会社より導入した肝細胞癌用

剤「Z-208」は、フェーズⅠ／Ⅱを引き続き進めております。

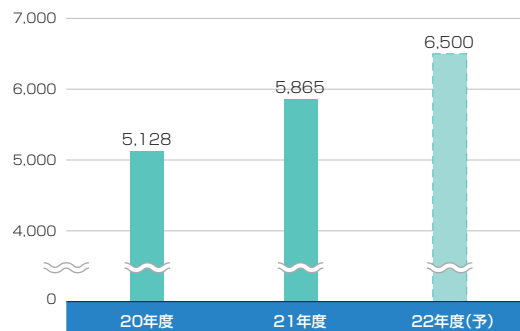
独立行政法人科学技術振興機構の開発委託を受けたアレルギー性鼻炎治療剤「Z-207」はフェーズⅡ開始に向けた準備を進めております。

さらに、厚生労働省・未承認薬使用問題検討会議において開発支援対象として採択された、原発性低リン血症性くる病を対象とする経口リン酸塩製剤「Z-521」の開発を開始いたしました。また、「ビジクリア® 配合錠」につきましては、改良製剤「Z-209」を平成22年3月に申請し、年度内の承認を見込んでおります。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、当社の医療用医薬品「アシノン®錠 75mg／150mg」の成分であるニザチジンをOTC医薬品にスイッチしたH₂ブロッカー胃腸薬「アシノン®胃腸内服液」・「アシノン®Z錠」（第1類医薬品）をはじめ、新製品を順次発売いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の研究開発費は、58億65百万円（前期比14.4%増）となりました。

研究開発費（単位：百万円）



研究開発パイプライン

当社における新薬のパイプラインは国内外を合わせて12テーマです。

● 研究開発の状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成22年5月17日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備 考
申請中	Z-209	自社	大腸内視鏡前腸管洗浄	改良製剤	導入 ビジクリア® 改良製剤
フェーズⅢ	Z-103/ ボラブレジンク	自社	味覚障害	亜鉛補充	導入 プロマック® 効能追加
	Z-338/ アコチアミド	共同開発 (アステラス製薬)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅠ/Ⅱ	Z-208/ タミパロテン	共同開発 (テムリック)	肝細胞癌	レチノイン酸RAR α 受容体作動作用	導入
フェーズⅠ 追加試験	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	クローン病	pH依存型放出調整製剤	自社グループオリジナル アサコール® 効能追加

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備 考
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社オリジナル アンサー® 効能追加
フェーズⅡ 準備中	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤	導入
開発準備中	Z-521	自社	低リン血症性くる病	リン酸補充	自社オリジナル 未承認薬開発支援対象

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備 考
承認 (韓国)	Z-103/ ボラブレジンク	導出 (SK Chemicals)	胃炎・胃潰瘍	胃粘膜保護作用	導入 プロマック®
フェーズⅢ準備中 (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma)	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社グループオリジナル アサコール®
フェーズⅢ準備中 (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅡ (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅡ準備中 (欧州)	Z-360	自社	脾臓癌	ガストリンCCK $_2$ 受容体拮抗作用	自社オリジナル

フェーズⅠ（第Ⅰ相臨床試験）

フェーズⅡ（第Ⅱ相臨床試験）

フェーズⅢ（第Ⅲ相臨床試験）

ご参考

動物実験を終えて効き目（有効性）と毒性が確認された「薬の候補」は、少数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少数の患者さんで「薬の候補」の効き目（有効性）、副作用（安全性）、投与量、投与方法などの適切な使用方法を*プラセボと比較しながら調べます。

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目（有効性）、副作用（安全性）、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、*プラセボと比較する試験を行います。多くの場合二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

* プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

● 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進めてまいりました。なかでも、生産関連部門では、より高い品質の確保を目指すとともに原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。一方、物流関連部門では、物流業務のアウトソーシングを実施する中、更なる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

なお、当社の製商品の出荷は、これまで札幌・東京・大阪の3カ所の物流センターで実施しておりましたが、平成21年7月に新たに九州物流センター（佐賀県鳥栖市）を開設し、出荷を開始いたしました。今後も当社製商品の安定供給のため、物流サービスの更なる向上を目指してまいります。

● クローズアップ 「コンドロハイ®900ゼリー」新発売

平成22年7月、ゼリータイプのコンドロイチン配合ビタミンB₁主薬製剤「コンドロハイ®900ゼリー」の販売を開始します。ゼリータイプの製剤ですので、錠剤やカプセル剤が苦手な方や嚥下機能が低下している高齢者の方などにも服用して頂けます。

1日1回1包でコンドロイチン900mgと4つのビタミンが摂取できます。携帯にも便利なスティックタイプで、どこでも水なしで服用できます。味はアセロラ風味です。コンドロイチンのラインアップ製品として積極的に展開してまいります。



● 次期の見通し

平成23年3月期（平成22年度）の連結業績予想につきまして、売上高540億円（前期比6.4%増）、営業利益26億円（前期比64.1%増）、経常利益25億円（前期比70.4%増）、当期純利益15億円（前期比49.7%増）となる見込みです。

売上高

医療用医薬品部門におきましては、本年4月の薬価改定の影響により既存製品は苦戦が予想されますが、昨年12月より販売を開始した潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」の市場浸透による売上拡大を見込んでおります。また、Tillotts社の売上高が平成22年度は通期で寄与いたします。一方、商品の一部で、仕入先企業と販売先企業の合併に伴う減収が見込まれております。

コンシューマーヘルスケア部門におきましては、平成22年度は主力製品群である「コンドロイチン群」に加え、昨年度関東地区にてテレビCMを実施した「ヘパリーゼ®群」につきましてもテレビCMの全国展開を予定しており、ゼリアブランドの認知度向上とともに売上拡大を見込んでおります。

これらの結果、売上高におきましては当期に比べて増収を予想しております。

利益

利益面におきましては、原価の改善並びに収益性の高い製品の売上高の増加が見込まれます。また、Tillotts社通期連結の効果もあり、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当期に比べて大幅な増益を予想しております。

	21年度	22年度(予)
売上高	507億45百万円 (前期比6.5%増)	540億円 (前期比6.4%増)
営業利益	15億84百万円 (前期比19.6%増)	26億円 (前期比64.1%増)
経常利益	14億67百万円 (前期比7.4%増)	25億円 (前期比70.4%増)
当期純利益	10億1百万円 (前期比16.7%減)	15億円 (前期比49.7%増)

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行なっております。このたび、従来の優待品Aコースの内容を変更し、平成22年3月末基準日から実施いたします。A～E 5つのコースからご希望のいずれかをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

Aコース 環境にやさしく利便性に優れたアルミ缶入りドリンク 『アルミ缶入りドリンク詰め合わせ』(今回内容変更)

肝臓エキス100mg、クルクミン(ウコンエキス)30mgに加え、黒コショウ抽出物(ビベリン)が摂取できるフルーティーなマンゴーパイン風味の「ヘパカン®」と、日本初のアルミ缶入り医薬部外品 滋養強壮ドリンク剤「エナジカン®」、1本100mL中にガラクトオリゴ糖を2.5g配合した、マスカット風味の微炭酸飲料 特定保健用食品「ウイズオブレ®」それぞれ12本をセットにしました。



Bコース 健康飲料 『コンドロビー®濃縮液 潤整®(じゅんこう)』

「コンドロビー®濃縮液 潤整®(じゅんこう)」は1日の摂取目安量90mL中にコンドロイチン硫酸1,560mg、グルコサミン1,000mgおよびコラーゲンペプチド1,000mgも摂取できるように配合しており、若々しく活動的にすごしたいと願う方におすすめの健康飲料です。



Cコース 美容・健康商品 『化粧品・ミニドリンク剤詰め合わせセット』



大人ニキビ対策として好評頂いているコンドロイチン含有の「アポステイー®洗顔フォーム」および「アポステイー®マイルドローション」を各2本と、ローヤルゼリー、ヨクイニン、ビタミン類を配合し1本2kcalノンシュガータイプのミニドリンク剤ローヤルゼリー配合「ももの味」ノンシュガー、同「りんご味」ノンシュガー各10本入り1箱をセットにしました。

Dコース コンドロイチン配合夜間集中美容液(化粧品) 『ZZ:CC®(ジージー・シーシー)アドソープエッセンス』

「ZZ:CC®(ジージー・シーシー) アドソープエッセンス」は当社が長年研究を続けてきたコンドロイチンを配合した「夜間集中美容液」です。高純度コンドロイチンと従来の美肌成分コラーゲン、ヒアルロン酸を独自の割合で配合。これを新・機能性保湿&保護成分「スキンルーツ®PGⅢ」と名付けました。さらに持続性ビタミンC誘導体やビタミンP誘導体および、各種植物エキスも配合しました。夜間集中してお使い頂くことで、眠っている間に角質層まで十分浸透し、翌朝まで肌の水分をとらえて逃がさない一方、美肌成分を送りつけ透明感のある素肌をめざします。



Eコース 上質なうるおいを実感する3品目 『IONAベシックススキンケア3点セット』

うるおい成分植物エキスなどを配合した自然の恵みのソープ「イオナ ソープ プリリアント」と、肌本来の保水力を整える、岩石抽出物・W糖類・ヒアルロン酸Na(保湿成分)配合のしっとりタイプの化粧水「イオナ スキンローション B.I.(®)」、バリア機能の源(角層)を保護する水溶性クリーム、保湿&エモリエント成分配合の「イオナ イオンクリーム プリリアント」の3品をセットにしました。



<イオナ インターナショナル株式会社について>

平成20年10月、当社グループに「IONA」ブランドで広く知られているイオナ インターナショナル株式会社(以下イオナ)が加わりました。これにより、当社グループは化粧品分野へ本格的に参入いたしました。



イオナ インターナショナル株式会社 福島工場

イオナは、創業以来30余年にわたり、基礎化粧品「IONA」シリーズの製品および販売に携わっております。

昨年11月には、ゼリアとイオナのシナジー創出第1弾として「リトルノ」を新発売しました。「リトルノ」はゼリアのコンドロイチンとイオナのイオンを融合した共同開発品です。

平成21年度（2010年3月期）決算説明会

平成22年5月28日（金）、アナリスト、機関投資家、プレス向けに「平成21年度（2010年3月期）決算説明会」を開催いたしました。当日は、伊部社長から、決算の概要も含め平成22年度の取り組みを中心に説明させていただきました。なお、決算説明会の内容および説明会資料は、当社ホームページ内「投資家の皆様へ」で動画配信しておりますのでご覧ください。

特に、平成22年度の取り組みにおいて3つの主要課題を説明させて頂き、当社の経営戦略に関して理解を深めて頂くことができました。以下が概要です。



1. 本格的な海外展開の元年

1番目の課題は、「平成22年度を本格的な海外展開の元年」とすることです。当社の企業理念「Z・E・R・I・A Five」の3番目の「R」 Reach out to the world（世界に目を向けて）の実現のため、子会社化したTillotts社を軸に積極的に海外展開を進めてまいります。本年度の当社の海外売上高比率は、Tillotts社の実績が通期を通して寄与することにより約11%になる予定です。早期に海外売上高比率25%以上を目指してまいります。

2. アサコール®を医薬品事業の収益の柱へ

2番目の課題は、医療用医薬品事業において「アサコール®を医療用医薬品事業の収益の柱へ」することです。平成23年度までに市場シェア50%の獲得を目指します。平成22年度は、共同販売先の協和発酵キリン株式会社と協力して早期に市場浸透を図ってまいります。



3. コンドロイチンに次いでヘパリーゼ®を第2のナショナルブランドへ

3番目の課題は、コンシューマーヘルスケア事業において「コンドロイチンに次いでヘパリーゼ®を第2のナショナルブランド」へ育成することです。コンドロイチンに関しては、6月中旬よりテレビCM第3弾を開始し、製品認知度をさらに高め市場拡大を図ります。第7次中期経営計画中には売上高100億円をめざします。コンドロイチンに次いで、肝臓水解物を配合した滋養強壮剤「ヘパリーゼ®」を第2のナショナルブランドに育成します。7月からテレビCMを全国展開して、市場拡大を図ります。

「アサコール®錠400mg」新発売記念講演会

本年2月に開催した「アサコール®錠400mg」新発売記念講演会には、全国から多数の下部消化管専門医が集まり同剤への関心の高さがうかがえました。「アサコール®」は、世界60数ヵ国でIBD（炎症性腸疾患）治療剤として使用され、米国シェア約50%、世界でも同分野のトップブランドです。海外で幅広く使用されている「アサコール®」が発売され、潰瘍性大腸炎治療剤の選択肢が広がり、患者さんのQOL改善に貢献できるものと期待しております。日本においては、協和発酵キリン株式会社と共同販売を行い、「アサコール®」の早期の市場浸透を図ってまいります。



「コンドロイチンZS錠®」テレビCM第3弾

平成22年6月12日より、石原良純さんを起用した、関節痛・腰痛治療剤「コンドロイチンZS錠®」のテレビCM第3弾の放映を全国で開始いたしました。石原良純さんを起用した「コンドロイチンZS錠®」のテレビCMは、今年で3年目になります。今回は、長い階段で有名な群馬県伊香保温泉でゆかた姿の石原良純さんが、お元気レポートをしながらテンポ良くコンドロイチンの効果を説明します。「コンドロイチン1560mg配合（1日量）」をベースに、特にサプリメントとの差別化を明確にして「医薬品のコンドロイチン」を訴求ポイントに「ひざ・こし・らくちん コンドロイチンZS」という定番サウンドロゴを組み合わせ、好感度の高い微笑ましい作品になっています。なお、テレビCMは、当社ホームページ（<http://www.zeria.co.jp/>）でご覧いただけます。



コンドロイチンZS錠®テレビCM

「米国HemCon社との包括的・独占的開発および販売契約を締結」

平成22年4月に、米国 HemCon Medical Technologies Inc.（以下HemCon社）との間で国内における止血・創傷治療用品の包括的・独占的開発および販売契約を締結しました。当社は、本契約の締結により、日本国内におけるHemCon社製品のすべての権利を獲得しました。HemCon社が米国をはじめ世界約60ヵ国で製造・販売しているキトサンなどを素材とした止血・創傷治療用品（パッチ、ガーゼ、バンデージ等）を当社が輸入し、当社の子会社であるゼリア商事株式会社が販売します。今回のHemCon社とのアライアンス契約は、医薬品事業の周辺領域における新規事業の一環として当社グループの企業価値向上に貢献できると期待しております。



財務諸表（連結）

連結貸借対照表（要旨）

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成21年3月31日現在	平成22年3月31日現在
[資産の部]			
流動資産	24,828	26,161	
現金及び預金	2,812	3,574	
受取手形及び売掛金	12,359	13,155	
たな卸資産	5,749	6,209	
繰延税金資産	617	678	
その他	3,325	2,584	
貸倒引当金	△36	△40	
固定資産	33,281	44,809	
有形固定資産	19,891	20,700	
建物及び構築物	6,433	6,431	
機械装置及び運搬具	3,034	2,962	
土地	10,082	11,039	
建設仮勘定	18	3	
その他	323	265	
無形固定資産	1,664	11,627	
投資その他の資産	11,725	12,481	
投資有価証券	5,660	7,161	
繰延税金資産	1,049	1,231	
その他	5,115	4,163	
貸倒引当金	△100	△75	
資産合計	58,110	70,971	

（単位：百万円、端数切捨て）

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成21年3月31日現在	平成22年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債	21,836	35,892	
支払手形及び買掛金	4,966	5,129	
短期借入金	12,880	24,706	
その他	3,989	6,056	
固定負債	8,561	7,083	
社債	2,600	1,400	
長期借入金	5,349	4,768	
退職給付引当金	168	173	
その他	443	741	
負債合計	30,398	42,976	
【純資産の部】			
株主資本	28,907	29,235	
資本金	6,593	6,593	
資本剰余金	5,414	5,414	
利益剰余金	24,177	24,517	
自己株式	△7,278	△7,290	
評価・換算差額等	△1,195	△1,239	
その他有価証券評価差額金	△1,195	△1,287	
繰延ヘッジ損益	－	5	
為替換算調整勘定	－	41	
純資産合計	27,711	27,995	
負債・純資産合計	58,110	70,971	

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成20年4月 1日から 平成21年3月31日まで	平成21年4月 1日から 平成22年3月31日まで
売上高		47,670	50,745
売上原価		22,257	23,300
売上総利益		25,413	27,444
返品調整引当金戻入額		185	186
返品調整引当金繰入額		186	169
差引売上総利益		25,412	27,461
販売費及び一般管理費		24,087	25,876
営業利益		1,324	1,584
営業外収益		413	284
営業外費用		371	400
経常利益		1,366	1,467
特別利益		668	416
特別損失		31	315
税金等調整前当期純利益		2,003	1,568
法人税、住民税及び事業税		501	825
法人税等調整額		299	△259
当期純利益		1,203	1,001

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成20年4月 1日から 平成21年3月31日まで	平成21年4月 1日から 平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		423	5,858
投資活動によるキャッシュ・フロー		△3,363	△15,479
財務活動によるキャッシュ・フロー		3,258	10,373
現金及び現金同等物に係る換算差額		－	19
現金及び現金同等物の増加額		318	771
現金及び現金同等物の期首残高		2,352	2,670
現金及び現金同等物の期末残高		2,670	3,442

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

（単位：百万円、端数切捨て）

	株主資本					評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成21年3月31日残高	6,593	5,414	24,177	△7,278	28,907	△1,195	－	－	△1,195	27,711
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△661		△661					△661
当期純利益			1,001		1,001					1,001
自己株式の取得				△12	△12					△12
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						△91	5	41	△44	△44
連結会計年度中の変動額合計	－	－	339	△12	327	△91	5	41	△44	283
平成22年3月31日残高	6,593	5,414	24,517	△7,290	29,235	△1,287	5	41	△1,239	27,995

会社情報 (平成22年3月31日現在)

会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,280名（連結）
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売及び輸出入

役員 (平成22年6月29日現在)

代表取締役社長	伊 部 幸 顕
専務取締役	斎 藤 武
常務取締役	遠 藤 広 和
常務取締役	降 旗 繁 弥
取 締 役	大 野 晃
取 締 役	熊 井 雅 一
取 締 役	永 谷 康 典
取 締 役	小 野 宏
取 締 役	岸 本 誠
取 締 役	菅 幹 雄
取 締 役	森 山 茂
取 締 役	平 賀 義 裕
取 締 役	橋 本 暢 仁
取 締 役	石 井 克 幸
取 締 役	多 胡 充 弘
取 締 役	竹 内 治 之
監 査 役	浜 野 峻 至
監 査 役	花 田 雅 彦
非常勤監査役	小 森 哲 夫
非常勤監査役	中 由 規 子

事業所

● 本社	● 京滋北陸営業所
● 札幌支店	● 中四国支店
● 仙台支店	● 岡山営業所
● 東京支店	● 高松営業所
● 東京第3営業所	● 福岡支店
● 神奈川営業所	● 中央研究所
● 埼玉営業所	● 埼玉工場
● 千葉営業所	● 筑波工場
● 北関東営業所	● 東京物流センター
● 甲信越営業所	● 札幌物流センター
● 名古屋支店	● 埼玉物流センター
● 大阪支店	● 大阪物流センター
● 大阪第2営業所	● 九州物流センター
● 神戸営業所	
● 出張所	

青森・郡山・宇都宮・関越・静岡・金沢・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄

連結子会社 4社

Tillotts Pharma AG

資 本 金 164万CHF（持株比率100%）
 事業内容 IBD（炎症性腸疾患）および IBS（過敏性腸症候群）治療剤の製造・販売

ゼリアヘルスウェイ株式会社

資 本 金 85百万円（持株比率100%）
 事業内容 健康食品の仕入・販売

イオナ インターナショナル株式会社

資 本 金 2億円（持株比率100%）
 事業内容 化粧品・医薬部外品の製造・販売他

株式会社ゼービス

資 本 金 1億80百万円（持株比率100%）
 事業内容 保険代理業・不動産業など

株式情報 (平成22年3月31日現在)

株式の状況

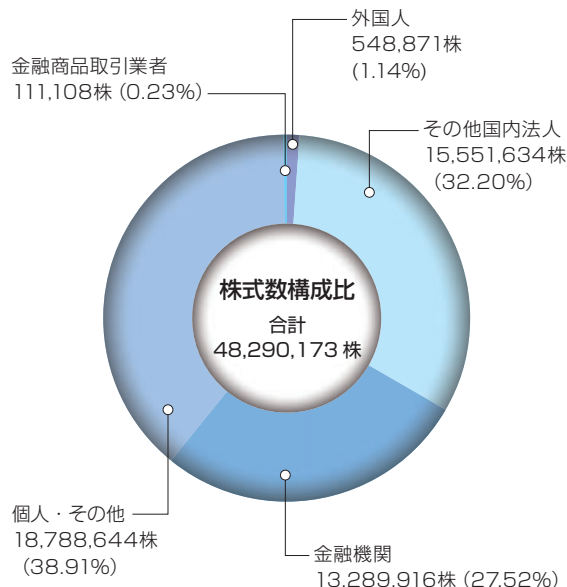
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	48,290,173株
③株主数	3,686名

大株主

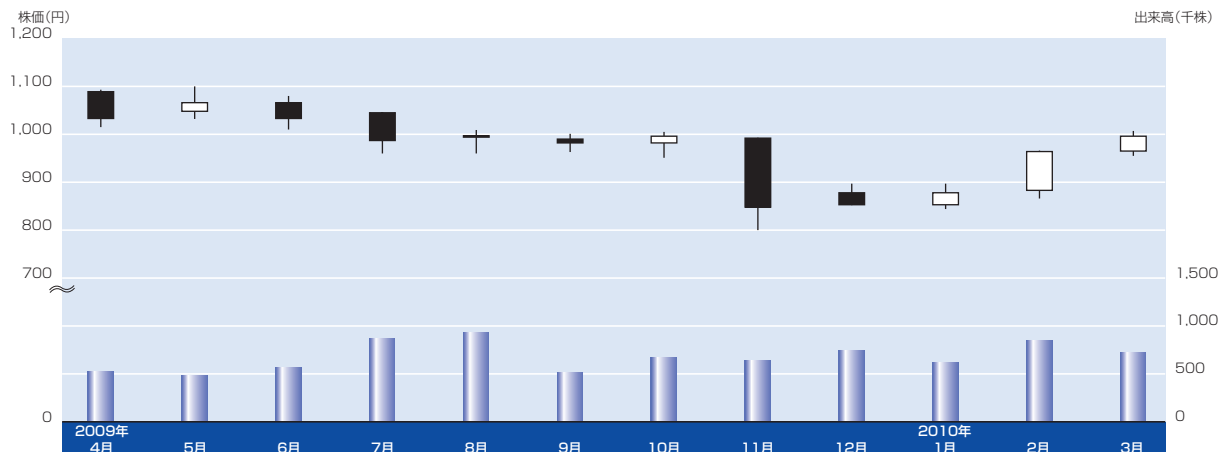
株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
有限会社伊部	5,510,770	13.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,915,500	4.6
森永乳業株式会社	1,854,741	4.5
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	1,704,000	4.1
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,651,417	4.0
伊部幸顕	1,434,425	3.5
株式会社三井住友銀行	1,278,301	3.1
株式会社みずほ銀行	1,278,230	3.1
株式会社りそな銀行	1,074,896	2.6
あいおい損害保険株式会社	858,691	2.1

(注) 出資比率については、自己株式 (6,924,148株) を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年より配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

URL <http://www.zeria.co.jp/>



当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

株主の皆さまの声を お聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4559

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールにより URL 自動返信 kabu@wjw.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬
ZERIA

ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351 (代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
<http://www.zeria.co.jp/>